

令和7年第2回定例会 産業建設委員会 報告（要点筆記）

議案第44号 四国中央市営住宅条例の一部を改正する条例について

質 疑

○委 員

俵木住宅の廃止日はいつか。

○理事者

俵木住宅は、令和2年3月25日に全入居者が退去したため、令和7年3月13日に除却工事を実施し廃止した。

議案第45号 四国中央市港湾施設条例の一部を改正する条例について

質 疑

○委 員

港湾施設使用料及び港湾施設占用料の値上げによる年間の増収額を伺う。

○理事者

港湾施設使用料及び港湾施設占用料の値上げにより、約500万円の増収となる。

議案第47号 令和7年度四国中央市一般会計補正予算（第3号）〔所管分〕

質 疑

○委 員

公営住宅整備事業のうち、金子南団地の長寿命化工事について、この工事を施工することにより延命される年数を伺う。

○理事者

約30年延命できる。

○委 員

金子南団地について、四国中央市公営住宅等長寿命化計画においては、1次判定で効率性にバツ印がついている。居住性の改善も必要という判定が出ているが、この点については、今回どのような判断で補正予算を計上したのか。

○理事者

金子南団地については、効率性や居住性の面で課題を抱えてはいるものの、2次判定では「改善の上、当面維持管理」との結果が示されている。また、入居率も87.5%と高く、建物の居住性等を含めた高機能化工事を施工し、延命化を進めていく方針で取り組むものである。

○委 員

具体的にどのように高機能化されるのか伺う。

○理事者

今回の長寿命化工事は、爆裂補修と防水対策に特化したものを補正予算で計上し、高機能化を図るものである。それ以外の修繕・改修等は、日々の業務で対応している。

○委 員

水道施設整備工事の内容について伺う。

○理事者

施工場所は新宮町上山であり、電気設備とポンプ設備の更新工事である。

○委 員

水道施設整備工事は、水道工事でありながら土木建設業者が施工しているのはなぜか。

○理事者

それぞれの工事内容により業種を検討した上で決定している。例えば掘削深により土留め工などが必要な工事では、土木的要素が強くなる。また、推進工事を伴うものなどについても、土木建設業者へ発注している。

○委 員

事業の専門性という観点から、水道事業は水道業者へ、土木事業は土木業者へ発注する方針に改めていただきたい。

○委 員

農村環境改善センター整備事業の内容について伺う。

○理事者

消防点検時に不良箇所が発見された消火栓設備と非常用放送設備の更新に当たり、実施設計業務を委託するための予算計上である。

○委 員

いずれも老朽化による更新という理解でよいか。

○理事者

そのとおりである。

同建物は築後40年経過しており、個別施設計画においては、中期で廃止と決定されている。しかし、残耐用年数16年を維持していくため、利用者の安全性も考慮した上で設備更新が必要であると判断した。

○委 員

公園整備工事の予定箇所を伺う。

○理事者

公園整備事業としては、城山公園の階段への手すり設置工事を予定している。

また、公園施設長寿命化対策事業では、三島公園の園路拡幅及び朝日児童公園の鉄棒の更新を予定している。

○委 員

道路維持整備事業について、現在担当課に要望している場所について施工することは可能なのか。

○理事者

要望を受けている全ての場所は順次対応していくが、道路維持整備事業で今回予算計上している施工場所は2路線あり、川之江山田井線と西港1号線である。

○委 員

野菜・花き等産地供給力強化支援事業費補助金の内容について伺う。

○理事者

近年、里芋伊予美人のブランドが定着しつつあり、市場からの信頼度も上昇している中、雨天時に収穫した里芋については、水分泥等が付着した状態で出荷をしており、販売先から蒸れや腐敗等のクレーム要因となっている。

また、関東圏域への販売については、輸送時間の延長が懸念されており、品質面での

長時間輸送対策が急務となっている。

このようなことから、里芋の表面に風をあて、乾燥させる設備を導入することにより品質面の向上を図り、物流面での課題にも対応し、販売農家の経営所得の向上につなげることを目的とした補助金である。

○委 員

本市が日本一の里芋の産地であるが、農作物全体の収穫量のうち、伊予美人は半分以下である。伊予美人を作っていない農家には、こういった支援策が講じられていないのが現状である。他の農作物を作っている農家にも支えられているにも関わらず、偏りや不公平な部分を感じる。平等な支援策を検討していただきたい。

○理事者

当事業の対象事業者選定については、愛媛県の農業指導班が選定を行っているが、要望のあった事業者の中から選定し、市に提出している。このようなことから、伊予美人を出荷していない事業者も補助対象であることを御理解いただきたい。

○委 員

県単土地改良事業補助金の内容について伺う。

○理事者

土居地域の水路改良工事である。内訳は、長津地区が1件、土居地区が1件、天満地区が2件、上野地区が1件の計5件である。

○委 員

県営森林基幹道開設事業の進捗状況について伺う。

○理事者

当事業は平成10年から事業を開始しており、現在の進捗率は約33%である。進捗状況から試算すると、完成までにはあと数十年必要であると思われる。

○委 員

社会基盤整備工事の内容について伺う。

○理事者

今回の補正予算では舗装修繕化計画から除外された、補助対象にならない路線について舗装修繕工事を施工するものである。要件としては、幹線道路や主要避難路などを選定している。

○委 員

対象路線は確定していないのか。

○理事者

工事対象路線は2路線あり、まず、川之江山田井線が施工延長185メートル、アスファルト舗装が1,300平方メートルで1,386万4,000円の工事費である。もう1路線である西港1号線が施工延長203.7メートル、アスファルト舗装が1,880平方メートルで2,000万円の工事費である。

○委 員

水利権協議資料作成業務委託料について内容を伺う。

○理事者

現在、柳瀬ダムから農業用水を取水している銅山川疏水においては、国からの水利権取得の更新が10年に1度必要である。現在の許可が令和9年3月末までであるため、来

年度更新作業を行うに当たり、必要な書類等を作成するため業務委託料を予算計上している。

○委 員

交通安全施設設置工事について、グリーンベルトを設置することができる距離を伺う。

○理事者

市内の調査している75路線のうち、令和6年度に22路線終了しており、今年度は11路線を施工予定である。今年度は区画線を17,500メートル施工予定である。そのうち、通学路でグリーンベルトを既に設置している路線については、消失していれば復旧工事を施工する。

グリーンベルトの新設道路については、通学路整備事業として国庫補助を受けて施工しているが、新設以外の維持管理について、今回市単独予算を計上するものである。

○委 員

社会基盤整備工事について、川之江山田井線は何センチメートル舗装なのか伺う。
併せて、平方メートル当たりの単価を伺う。

○理事者

5センチメートルと5センチメートルの2層舗装で、単価は、約1万円である。

議案第51号 令和7年度四国中央市公共下水道事業会計補正予算（第1号）

質 疑

な し

議案第56号 市道路線の認定について

質 疑

な し

主要事業 「城山下臨海土地造成事業」

質 疑

○委 員

工業用地と港湾関連用地の用途の違いについて伺う。

○理事者

港湾関連用地は倉庫、工業用地は製造業などの工場を建設する目的の用地である。

○委 員

搬入土砂の陸上輸送と海上輸送の割合を伺う。

○理事者

全体で170万立方メートルの土砂が必要であり、陸上輸送は110万立方メートル、海上輸送は60万立方メートルである。

○委 員

海上輸送の土砂はどこから輸送されてくるのか。

○理事者

三島川之江港及び新居浜港などのしゅんせつ土砂であり、土質・土壌検査をクリアし

た土砂を陸揚げすることなくそのまま海中へ投入する。

○委 員

起債利子等 4 億8,000万円について内容を伺う。

○理事者

ほぼ全て起債の支払利子であり、利率は 2 %で試算している。

主要事業 「漁港海岸整備事業」

質 疑

○委 員

事業費の残額はいくらか。

○理事者

事業費の残額は 1 億1,700万円である。